

製造業安全対策官民協議会 神戸宣言に基づく計画について

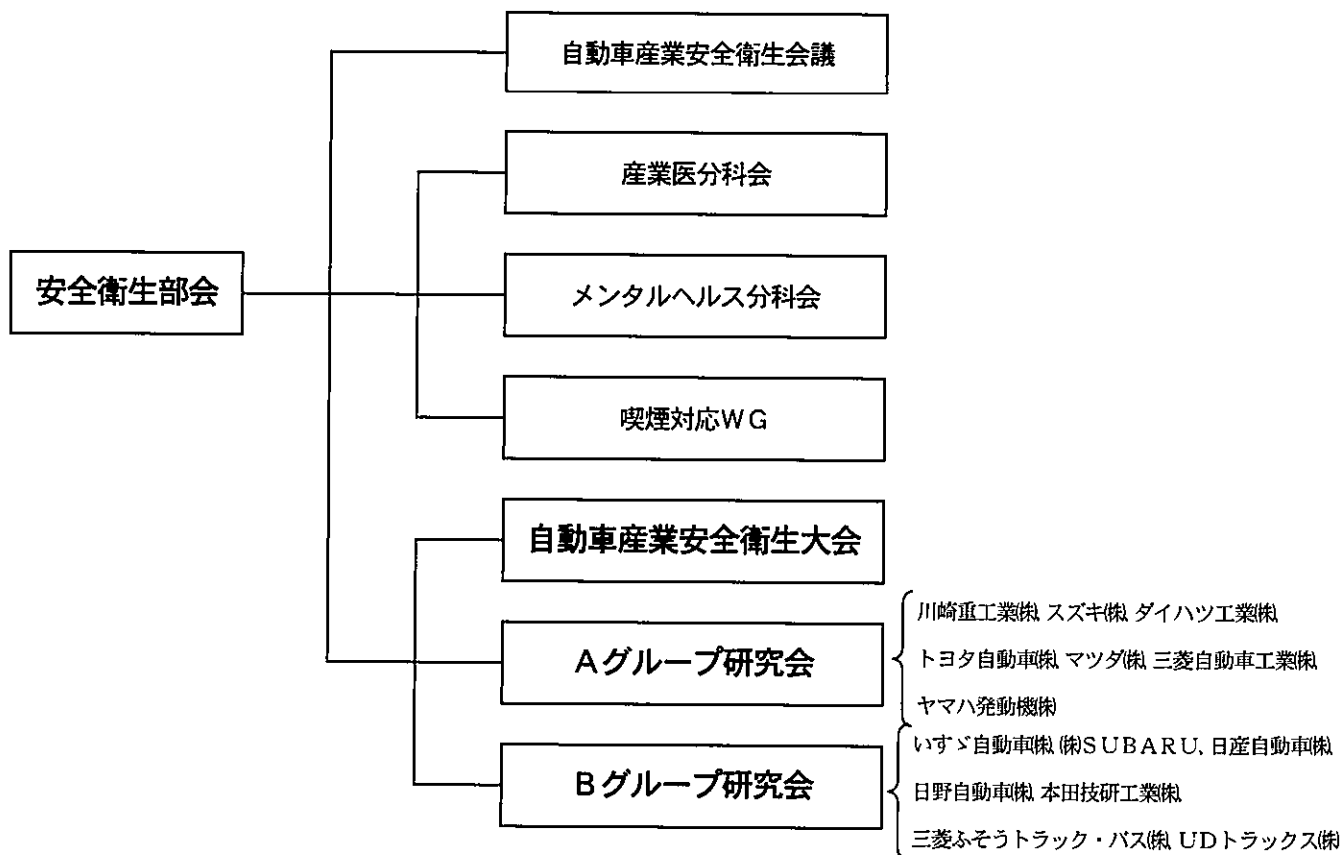
◇日本自動車工業会の概要

1. 所在地 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館
2. 設立 1967年（昭和42年）4月3日
3. 目的 本会は、我が国の自動車工業の健全な発達を図り、もって経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目的とする。
4. 会長 豊田章男（トヨタ自動車㈱ 代表取締役社長）
5. 会員企業 いすゞ自動車㈱、川崎重工業㈱、スズキ㈱、㈱SUBARU、ダイハツ工業㈱、トヨタ自動車㈱、日産自動車㈱、日野自動車㈱、本田技研工業㈱、マツダ㈱、三菱自動車工業㈱、三菱ふそうトラック・バス㈱、ヤマハ発動機㈱、UDトラックス㈱

計 14社

◇安全衛生関係検討組織

1. 体制図



2. 会議体の内容、統計等

会 議	内 容
安全衛生部会	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生全般に関する情報交換、検討、提言 ・会議は原則、会員企業の製造事業所にて現場視察を兼ねて開催。 ・各社の災害事例や改善事例を定期的に共有し、会員相互のレベルアップを図る。
研究会 (Aグループ) (Bグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生部会傘下にAグループ・Bグループ研究会を設置。 ・労働安全衛生領域の課題からテーマを選定し、会社の垣根を越えて調査・研究活動を実施。 ・研究成果を自動車産業安全衛生大会および、中央労働災害防止協会・全国産業安全衛生大会で発表。
自動車産業 安全衛生大会	<ul style="list-style-type: none"> ・自工会A・Bグループ研究会、部工会A・Bグループ研究会の安全衛生に関する共同研究成果発表の場。 ・自動車産業における安全衛生意識の向上と相互のレベルアップを図る事を目的に、年1回開催。
自工会 労働災害統計	<ul style="list-style-type: none"> ・会員 14 社の労働災害統計および事例の共有により、自動車産業における労働災害の防止に活用する事を目的とする。(業務上疾病、通勤災害、出張・事業所間移動等、本来業務外の原因により発生した災害は対象外とする) ・会員各社から報告される毎月の労働災害の件数・労働損失日数・度数率等のデータを集約。同時に、休業4日以上労働災害事例を報告・展開。 ・年間の災害要素分析(労災の型・傷害箇所・原因・被災者の年齢・経験・雇用形態等)を行い、部会へ報告。

◇自工会労働災害統計の推移

年(1~12月)	社数	度 数 率			強 度 率
		休業度数率	不休度数率	全度数率	
平成 20 年	14	0.13	0.74	0.87	0.045
平成 21 年	14	0.12	0.64	0.76	0.019
平成 22 年	14	0.11	0.68	0.78	0.006
平成 23 年	14	0.12	0.65	0.76	0.055
平成 24 年	14	0.10	0.53	0.63	0.018
平成 25 年	14	0.07	0.47	0.54	0.003
平成 26 年	14	0.07	0.41	0.48	0.015
平成 27 年	14	0.07	0.34	0.41	0.015
平成 28 年	14	0.06	0.31	0.37	0.003
平成 29 年	14	0.09	0.32	0.41	0.002
平成 30 年 ※1~5月	14	0.06	0.31	0.37	0.004

注：通勤災害と業務上疾病は含まず

◇平成30年度 安全衛生関係の活動計画

※別紙「平成30年度(2018年度) 自工会「安全衛生活動」計画と実績」参照

<主な催事の概要>

開催日・催事名	場 所	概 要
2018/09/28(金) 自動車産業安全 衛生大会	(大阪) ホテル阪神大阪	(1)開会挨拶 大会企画委員会委員長 (ダイハツ工業(株) 安全・健康推進室 安全グループ グループリーダー 主任) (2)主催者代表挨拶 日本自動車工業会 理事・事務局長 矢野 義博 (3)来賓挨拶 大阪労働局ご担当者様 中央労働災害防止協会 理事長 八牧 暢行様 (4)研究発表Ⅰ (自工会Aグループ) 「第三者起動による災害防止～ロックアウトシステムに関する一考察～」 発表者: トヨタ自動車(株) 安全健康推進部安全衛生室 主幹 田畑 英雄樹 (5)研究発表Ⅱ (部工会Aグループ) 「災害情報を活かした安全活動」 発表者: トヨタ自動車東日本(株) 安全・健康推進室 安全G チーフエキスパート 岩崎 鉄郎 (6)研究発表Ⅲ (自工会Bグループ) 「『300撲滅活動の一考察』安全意識を身につけさせるには」 発表者: 本田技研工業(株) 人事・コーポレートガバナンス本部人事部 安全衛生管理課 グループリーダー 山田 和宏 (7)研究発表Ⅳ (部工会Bグループ) 「職場の主體的な安全衛生活動の推進」 発表者: 日本特殊陶業(株) ファシリティエンジニアリング本部 環境安全部 安全衛生課 副主管 渡辺 憲治 (8)特別講演「働く人の健康増進 ～こころとからだを癒す笑いの力～」 講師: 福島県立医科大学 医学部疫学講座 主任教授 大平 哲也様 (9)大会宣言 日本自動車工業会 安全衛生部会 部会長 荒川 透 (本田技研工業(株) 人事部 安全衛生管理課 課長)
2018/10/17-19 中災防・第77回 全国産業安全 衛生大会 (2018横浜)	横浜アリーナ パシフィック横浜 他	【自工会・研究発表】 ①Aグループ研究会「安全衛生教育の充実 ～体感訓練～」 発表者: 三菱自動車工業(株) 岡崎製作所 管理部(安全衛生担当) 担当マネージャー 石川 雄一 ②Bグループ研究会「300撲滅活動の一考察 ～意識編～」 安全意識はなぜ失われるのか 発表者: (株)SUBARU 人事部安全企画担当 日野 貴透

◇神戸宣言に基づく計画

4つの経営理念のうち、

- ①項目1 (経営層のリーダーシップ)、項目2 (安全への投資の促進)、項目3 (安全人材の育成や安全教育の拡充)に関しては、会員各社の実情に基づき、個社の安全衛生管理活動計画等に反映させる事とする。
- ②項目4 (重点的に取り組むべき課題を抽出と対策、業界内外への共有)に関しては、
A・Bの各グループ研究会において、自工会労働災害統計等の分析に基づき、重点的に取り組むべき課題を抽出した上で研究活動を実施し、その成果は、自動車産業安全衛生大会および全国産業安全衛生大会に於いて発表、広く業界内外に共有を行う事とする。

以 上

平成30年度(2018年度)自工会「安全衛生活動」計画と実績

2018/8/15

		活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安 全 衛 生 関 係 会 議 活 動	製造業安全対策 官民協議会	【委員】安全衛生部会前部会長 小澤氏(トヨタ自動車(株)) 製造業における安全対策の更なる強化を図る為、官民(厚生労働省、経済産業省、中災防、製造業界10団体)が協力し、業種の垣根を越えて、現下の安全に関わる事業環境の変化に対する認識を共有し、新たな取り組みを検討する。			▼#3 (6/8)			▽#4 (9/21)	▽ (10/18) 全国産業安全 衛生大会 特別セッション					
	全体WG	【委員】安全衛生部会部会長 荒川氏(本田技研工業(株)) ①協議会全般に係る事項 ②サブWGで検討された事項の確認	▼書面					▽#4 (9/11)						
	SWG田村チーム	【委員】安全衛生部会副部会長 高橋氏(日産自動車(株)) ①安全対策の経済・社会的効果分析 ②安全教育の体系的プログラム策定			▼#5 (6/18)	▼#6 (7/18)		▽#7 (9/3)		▽#8		▽#9		▽#10
	SWG向殿チーム	【委員】安全衛生部会委員 藤野氏(三菱自動車工業(株)) ①OSHMSのJIS策定への協議会の関与 ②リスクアセスメントの標準手法の開発			▼#5 (6/5)	▼#6 (7/18)		▽#7 (9/3)		▽#8		▽#9		▽#10
	自動車産業 安全衛生大会	自動車産業界(メーカー、部品、車体)における ①安全衛生水準の向上のための意思結集 ②研究テーマ発表による各社研究レベルの向上			企画委員会	企画委員会	企画委員会	▽安全衛生 大会 9/28 (大阪)						
	部工会との連携	企画委員会を合同で組織し、大会の内容・企画・運営等について討議する。												
	安全衛生部会	労務委員会の目的達成のため、労働安全衛生に関わる情報交換、諸課題の検討を行う。		▼#38 (5/29) ヤマハ発動機						▽全国産業 安全衛生 大会 10/17-19 横浜市				▽#39
	自動車産業 安全衛生会議	部工会安全衛生分科会との人的交流・情報交換を目的に合同会議を開催する							▽#20 (10/16) 横浜市					
	特別研究会 (A・Bグループ研究会)	安全衛生に関わる重要事項について情報交換・対応検討。また、諸課題からテーマを選定し調査・研究を行う。研究内容を自動車産業安全衛生大会および全国産業安全衛生大会にて発表する。	▼	▼	▼	▼	▼		(研究結果)	▽	▽	▽	▽	▽
	産業医分科会	健康保持増進、職場環境や作業形態変化への対応等、主として産業衛生に係る情報交換、諸課題の検討を行う					▼#42 (8/2)							▽#43
メンタルヘルス 分科会	各社の取り組みや組織・体制の調査、事例報告、事例検討、先進事例研究等を基に、メンタルヘルスへの取り組みを一層、強化・拡充していく為の対応策を検討する。					▼#35 (8/2)							▽#36	
喫煙対応WG	受動喫煙対策および喫煙率低減を促進すべく、各社の取り組み好事例の情報共有、先進事業所の視察、有識者等からの最新情報や効果的な対策の把握などを行なう。			▼#10 (6/8) 三菱自動車						▽#11				
調査 活動	労働災害統計 自工会会員14社における 災害発生件数、労働損失日数、度数率、強度率等の調査	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	▼報告・集約	(+年間集計)	▼報告・集約